

在宅包括サービスおおいど サービス運営推進会議 議事録

令和6年6月28日（金）15:00～

大井戸診療所待合室

記録：廣瀬

参加者 ご家族3名 下谷区長 民生委員 伊勢崎市役所職員 施設職員2名

○在宅包括サービスおおいどからの報告

- ・当法人の理事長の大澤ですが、前回の会議では入院中と報告させていただきましたが、退院し、診療にも復帰をしています。
- ・6月から、群馬大学名誉教授の山口晴保先生が物忘れ外来のお手伝いに来てくれています。

○利用者状況

4月

介護度	申請中	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数		4名	1名	6名	4名	6名

計 21名

4月の登録者ですが、1名の入院があり、21名でした。

新規、終了ともありませんでした。

5月

介護度	申請中	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数		5名	1名	8名	5名	6名

計 25名

5月になると、1名が退院され、また新規登録も3名あり、25名となりました。

退院された1名の方は、退院後、すぐに自宅で生活を再開することに不安があるとのことだったため、看多機の連続した宿泊を10日間利用し、その間、ベッド脇に置いたポータブルトイレで排泄できるようになることを目的に、下肢筋力のリハビリを行い、その後、自宅での生活を再開されました。

また、自宅でのトイレ動作後、腰が痛くて動けなくなってしまった方がいらっしゃったのですが、急遽、看多機の連続した宿泊を導入し、やはり10日程度、安静とリハビリの期間を設け、その後、自宅での生活を再開されました。

このような利用の仕方ができるというのが、看多機のよいところかと思っています。

6月9日に、竹原さんがお亡くなりになりました。

竹原さんは、2022年から上行結腸癌を患っており、長い闘病生活でしたが、食欲の低下はみられましたが、その他は目立った症状はなく過ごされていました。しかし、全身状態が徐々に低下し4月末に医師から「予後1か月程度」とのお話がありました。

週に2回の通いサービスと、訪問看護、そして時々宿泊を利用していましたが、5/25から看多機の連泊を利用され、ご家族やご親族の方々は看多機に面会に来ていただきました。

連泊になってからも、体調が良い日には、ご自宅に連れて行ってあげることもできました。

最期は、連日、ご主人や娘さんが通ってきてアロママッサージを行ってくれたり、お部屋でハーモニカを聞かせてくれたりとご本人は、安心した中で旅立ったと想像します。

○活動の報告

4/26 赤堀こいのぼり見学

4/30 「介護亭楽珍さん」の創作落語「認知症が怖くて、歳が取れるか！」に参加（下谷会議所）
暑さが厳しく、なかなか外へ出かけられる機会もありませんでしたが、看多機の建物内で、体操やレクリエーション等で、一生懸命身体を動かしました。

○職員の研修等

各職員、オンライン研修を受講しています。

5月 緊急時の対応に関する研修

6月 非常災害時の対応に関する研修

※全職員を対象に実施しました。

5/20 群馬県地域密着型サービス連絡協議会 総会基調講演

「脳科学者として認知症の母との暮らしから見えたこと」 講師：恩蔵絢子氏

脳科学者の人ですが、自分の母が認知症になり、そのお母さんを脳科学者の視点で捉えてケアをしてきたという話を聞くことができました。

6/26 群馬県の高齢者介護スキルアップ研修の「終末期を支えるケア講座」

伊藤課長講師として参加。

○感染対策について

- ・看多機への訪問について

新型コロナウイルス感染症が5類となりましたが、体調不良時の訪問はお控えください。

- ・サービスの利用について

発熱等の症状がある場合には、まずご一報をお願いします。

必要に応じて、抗原定性検査を実施してからのサービス利用とさせていただきます。

引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

○身体拘束適正化委員会

- ・開設から本日までの間に、身体拘束に該当する事案はなかったことをご報告させていただきます。

○意見交換等

- ・看多機で最期の時を迎えた利用者様のご家族より

本人は「自宅で死にたい。胃ろうにはしたくない」との意思をはっきり示していたので、看多機で看取ることは悩んだ。しかし、実際は自宅にいる時よりも手厚いケアができ、本人の希望をかなえられたのではないかと。私自身もがんばろうという気持ちにつながった。今は任せてよかったと思っている。

- ・看多機とデイサービスの違いは何か？また他の入所施設との違いは何か？

看多機にもデイサービスとしての機能はあり、さらにお泊りや訪問のサービスが付随しているため、柔軟な使い方が可能。

看多機にもお泊りはあるが入所施設ではなく、あくまでも在宅介護を支援する施設である。医療サービスと連携し、痰吸引が必要な方や胃ろうの方でも利用できる。365日24時間の対応が可能。お看取りまで行っており、通えなくなる時はない。ただし送迎が負担になる場合は通いを中止して、訪問サービスに切り替える事もできる。

- ・サービス運営推進会議の開催日について

イベントと一緒にするのが良いのではないかな？

平日は参加しづらいので、土曜日がいいのではないかな？

○アンケート集計

- 1.開催する曜日、時間についてのご意見
- 2.本日の会議の感想や内容等についてのご意見

・ご家族

- 1.アンケートなどで確認してみてもいいですか？私はできるだけ参加させていただきます。
- 2.運営会議についてうまく説明できなくてすみません。何か協力できることがあれば言って下さい。
看取りの話を聞いてよかったです。これからもよろしくお願いします。

・ご家族

- 1.迎えを兼ねて出席できるので良い曜日、時間だと思います。
- 2.入居者を介護している方のお話はいざというとき、また今後のことについてとても参考になりました。
おおいどには日頃手厚くお世話いただいているようで、とても有難いことだと思いました。母もこのところ安定していますので、よろしくお願いします。

・ご家族

- 1.平日の他一年の内に土日とかもあれば参加される方もいるかなと思います。
- 2.皆様もいろいろな思いを抱えていることがわかりました。

・民生委員

- 1.平日 15:00 過ぎなら（孫の幼稚園の迎えが 14:20 なので） 土曜午後
- 2.勉強になりました。

・市役所職員

- 1.平日開催をご継続頂きたいです。
- 2.ご家族から見た看取りのお話が聞いて貴重な体験をさせていただきました。